

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【公開番号】特開 2001-23882 (P2001-23882A)

【公開日】平成 13 年 1 月 26 日 (2001.1.26)

【出願番号】特願 平 11-193650

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

F 1 6 F 15/02 (2006.01)

G 0 1 H 1/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/30 5 0 3 F

F 1 6 F 15/02 A

G 0 1 H 1/00 Z

G 0 3 F 7/20 5 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 装置の設置基礎としてのペDESTAL であって、振動センサが埋設されまたは組み込まれていることを特徴とする振動センサ付きペDESTAL。

【請求項 2】 前記振動センサは、加速度および速度のいずれかまたは双方を検出するためのものであり、かつ検出方向は互いに直交する 3 軸方向であることを特徴とする請求項 1 に記載の振動センサ付きペDESTAL。

【請求項 3】 前記振動センサの出力は、前記装置に設けられた能動的除振装置における除振のためのフィードフォワード信号として用いられるものであることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の振動センサ付きペDESTAL。

【請求項 4】 請求項 1 ~ 3 のいずれかの振動センサ付きペDESTAL の上で露光装置本体を支持する能動的除振装置を備え、この能動的除振装置は、前記振動センサ付きペDESTAL が有する振動センサの出力に基づいて、前記振動センサ付きペDESTAL から露光装置本体へ伝達しようとする振動を相殺することを特徴とする露光装置。

【請求項 5】 前記振動センサによって地震を検知し、この検知結果に基づいて装置の稼働状態を制御する手段を有することを特徴とする請求項 4 に記載の露光装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明の第 2 の振動センサ付きペDESTAL は、第 1 の振動センサ付きペDESTAL において、前記振動センサは、加速度および速度のいずれかまたは双方を検出するためのものであり、かつ検出方向は互いに直交する 3 軸方向であることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の第3の振動センサ付きペデスタルは、第1または第2の振動センサ付きペデスタルにおいて、前記振動センサの出力は、前記装置に設けられた能動的除振装置における除振のためのフィードフォワード信号として用いられるものであることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の露光装置は、本発明の第1～第3のいずれかの振動センサ付きペデスタルの上で露光装置本体を支持する能動的除振装置を備え、この能動的除振装置は、前記振動センサ付きペデスタルが有する振動センサの出力に基づいて、前記振動センサ付きペデスタルから露光装置本体へ伝達しようとする振動を相殺することを特徴とする。